



令和2年度

12月号 幸福度

先日、小学校の校長先生とお話させて頂く機会があり、日本の子ども達は自己肯定感が低いというお話をされていました。

その自己肯定感の低さが判明したのは、国連児童基金(ユニセフ)が先進国、新興国に住む38か国の子ども達の「幸福度」調査の結果が発表されたことによるものです。

日本は、その結果で20位だったそうですが、その内容に驚きました。

まず、身体的健康の分野では1位という結果になっています。

これは子どもの死亡率の低さと肥満の子どもの割合が基準となっており、保険のシステムや医療レベルの高さ、生活環境の良さが要因となっています。

それに比べて、精神的幸福度は38か国中37位という結果でした。

これは子ども達の生活満足度と自殺率が基準となっていますが、子ども達は日々の生活に不満を持っており、自殺率も高いということになります。

身体的健康が1位の日本は、人間が最も恐れる「死」に一番遠い存在にあるにも関わらず、幸福度が低い原因は何なのでしょう。

幸福度上位に目を向けると、北欧諸国が上位を占めています。

そのような国々で共通しているのは、子ども達の自主性をとても尊重しているということです。

良い成績を取るよりも、自分らしい生き方を見つけることが最優先されます。

その代わり自立するのも早く、18歳で高校を卒業すると皆家を出て自立するそうです。

日本では良い成績を取ることでどんな道に進むかの選択肢を広げることができる為、良い成績を取ることが優先され、どのように生きるかという生き方はこの次にならなっているような気がします。

その結果、やりたいと思っていない勉強を強要され、子どもが幸福と感じられない環境になっているのではないのでしょうか。

しかし、子ども達が自由を求めるからには、その責任も自分たちで取らないといけません。

今の日本の子ども達は、どちらかと言えば勉強をやらされてはいますが親に甘えられる期間は長く、親の責任が問われることが多いと思います。

それに比べ、北欧諸国の子ども達は勉強を自主性に任されていますが、その分自立も早く責任も自分で取らなければならず、甘えられない状況にあります。

本当に子ども達にとって良いのはどちらなのでしょう。

幸福度調査の結果を見る限り、人間は死なないということに幸せを感じるよりも、自分がやりたいことをやって充実した生き方を見出した方が幸せを感じるようです。

全ての子ども達がやりたいことを見つけられる、そんな環境作りがこれからは求められるのかもかもしれません

12月のスケジュール

未就園児教室

- 火曜のクラス 🍷 前半・後半
- 水曜のクラス 🍷 前半・後半
- 木曜のクラス 🍷 前半・後半
- 金曜のクラス 🍷 前半・後半

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
30 休園	31	1 🍷	2 🍷	3 🍷	4 🍷	5 休園
6 休園	7 🍷	8 誕生会	9 🍷	10 🍷	11 🍷	12 研究保育
13 休園	14	15 🍷	16 🍷 個人面談	17 🍷 個人面談	18 🍷 個人面談	19 休園
20 休園	21 個人面談	22 個人面談	23 終業式	24 冬季休業	25 冬季休業	26 休園
27 休園	28 冬季休業	29 冬季休業	30 冬季休業	31 大晦日	1 元旦	2

お知らせ

- 8日(火) 誕生会 (クリスマス会) 10:30~
- 23日(水) 終業式 (帰りはバス有)

年長 冬休みを楽しく迎える (1日~23日)

- ・誕生会(クリスマス会)に楽しく参加する
- ・冬の自然現象や動植物の様子を知る
- ・寒さに負けず、戸外でかけっこやボール遊び、縄跳びをする
- ・部屋やロッカーを片付け、冬休みを迎える

年中 冬の遊び・冬休みを迎える (1日~23日)

- ・寒さに負けず、戸外で元気に遊ぶ
- ・冬の自然現象に興味を持つ(動物の冬ごもり、雪など)
- ・自分の持ち物を整理して冬休みを迎える
- ・年の暮れ、お正月についての話を聞く

年少 冬の自然に興味を持つ・冬休みを迎える (1日~23日)

- ・戸外で元気に遊ぶ
- ・クリスマスについての話を聞き、皆で飾り付けをする
- ・誕生会(クリスマス会)に楽しく参加する
- ・自分の持ち物を整理し、冬休みを迎える